

令和6年度第2回米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会 議事録（概要）

○開催日時 令和6年10月1日（火） 13時30分から14時30分まで

○開催場所 米子市役所本庁舎2階 201会議室

【各申請団体プレゼンテーション概要】

申請団体1

大篠津地区自治連合会

事業名

大篠津地区安心・安全マップ作製事業

事業概要

安心・安全な地域づくりを目指して自治会・民生委員・子ども会等と協力して「見守りマップ」を作る。

《発表内容》

- ・町内の住宅地図を作製し、各自治会及び公民館・消防団・小学校・保育園に配布したい。
- ・これまでは自治会長が紙ベースで作っていたが、変更がある際などに、編集するのが難しい。町内の高齢世帯や避難経路、子ども会等網羅するために、毎回新しいものを作り変えないといけない。
- ・近隣の町に聞いたところ、そういうものを記入できる住宅地図を作製できるという話を知り、今回の事業を計画。
- ・一般家庭に配布するものではなく、町全体分は公民館・消防団・小学校・保育園に配布。10ある自治会ごとの分は、町全体ではなく自治会内を網羅した地図を各自治会長に渡すことを考えている。
- ・新しい家を足したり、避難経路を検討する際には一度書いてもまた消したりもできるような装丁にしてもらい、作製後も、更新しながら長く使っていけると考えている。

《質疑応答》

- ・出来たマップの配布先・数を確認したい。
- ⇒公民館・消防団・小学校・保育園に町全体版、各自治会長に自治会内版を配布するので、計14枚。
自治会長は一定期間で交代していくため、持ち回りにしようと思っている。
- ・オープンに掲示等をする予定はあるか。
- ⇒地図の掲示等は考えておらず、担当者が必要に応じて閲覧する予定。
- ・更新の際にはデータ上で上書きしていくような形になるのか。
- ⇒データ上の更新となると、その都度費用がかかってしまうので、地図自体の表面をマーカー等で記入出来るような加工をしてもらい、そこに色分け等をしながら情報を落とし込む予定。
- ・今回、ちょっこし活動コースで申請をされているが、事業費の規模からすると、がいな活動コースでも良かった気がするが、どうか。
- ⇒初めて申請をする際は、ちょっこし活動コースしか選べないと思っていた。
- ※新設団体の場合はちょっこし活動コースしか選べないが、既存の団体であれば、新規事業であっても、がいな活動コースの選択は可能。

- ・安心・安全マップ作製後の具体的な活用予定を聞きたい。

⇒自治会長は定期的に変わるため、避難経路や高齢世帯の状況把握等、地図を引き継ぐことで円滑に進められるようにしたい。また、防災訓練等にも活用していきたい。

【審査結果】

◇審査結果

申請のあった1団体の事業を「採用（交付金の交付可）」と判定した。

◇判定に当たっての審査会からの付帯事項

- ・時間の経過とともに、情報も古くなっていくため、作製後も定期的に内容を更新し、実効性の高いマップとして活用すること。
- ・事業費規模から考えると、申請コースに検討の余地がある。実施時期に余裕があるなら、今回は辞退し、次回募集時にがいなコースでの申請を行う選択肢も視野に入れてみてはどうか。